

項目	内容
供給	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和8年3月末実施)によると、「2月の処理出荷推計実績は処理羽数が前年同月比100.3%、処理重量も同101.3%と、前月時点の計画値からともに上方修正されている。現時点での2026年3月の予測は処理羽数が前年同月比97.3%、処理重量は同98.1%の見通しと、前月時点の予測から処理重量のみ下方修正されている。4月は処理羽数は前年同月比95.8%、処理重量は同95.2%、5月は処理羽数は前年同月比95.2%、処理重量は同95.7%となっている。」と報告されている。引き続き、工場の人員不足が課題となっている。
	2. 輸入 (1) 財務省の貿易統計によると、令和8年2月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から▲0.6千トンの46.2千トン、国別ではブラジルが前月▲1.7千トンの29.7千トン、タイが+1.5千トンの16.3千トンとなった。(独)農畜産業振興機構(ALIC)によると今後の見通しは、輸入量は3月は47.0千トン(前年比111.2%)、4月は52.4千トン(同109.7%)と3月4月ともに増加する予測である。要因としては、「輸入量は、前年のブラジル産の輸入量がブラジル国内及び他国向けの需要の高まりによる価格上昇により低水準であることや現在の輸入品在庫量が低水準であったこと等から、3月はかなり大きく、4月はかなりの程度、いずれも前年同月を上回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなりの程度上回ると予測する。」とされている。 (2) 令和8年2月の鶏肉調整品の輸入量は前月から▲1.4千トンの40.3千トン、国別では中国が+0.3千トンの15.4千トン、タイが▲1.6千トンの24千トンとなった。 (3) ㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、2月の輸入鶏肉(モモ肉)の価格はブラジル産で680円/kgから700円/kg(前年410円/kg)、タイ産が680円/kg中心(同450円/kg)となっている。要因としては「輸入品の高騰を受けて一部は国産にシフトする動きもあり、相場を下支えする要因になっているとみられる。現物の荷動きはモモを中心に堅調で、気温の高まりに伴ってムネの活発化が期待されるところ。輸入品はとくにブラジル産で入荷が少なく、市中の回りも少ない。現地オファーも引き続き強気で、この先も高値続きが予想される。」と報告されている。
需要	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)によると、令和8年2月の生鮮肉消費(購入)は数量4,014g(前年比101.7%)、金額6,639円(同105.5%)と、数量・金額ともに前年を上回った。鶏肉は数量1,484g(同99.0%)・金額1,688円(同105.4%)・単価113.72円/100g(前年同月差+6.9円)と数量は前年を下回ったものの、金額・単価はともに前年を上回った。牛肉は数量・金額ともに前年を上回った。豚肉も数量・金額ともに前年を上回ったものの、単価は前年を下回った。
	2. 量販・卸 (1) 一般社団法人全国スーパーマーケット協会の販売統計調査によると、令和8年2月の食品売上高は全店ベースで前年比102.9%と前年を上回り、生鮮3部門の売上高は全店ベースで同101.9%、既存店ベースは同100.7%。畜産部門の売上高は約1,204億円と全店ベース同104.0%、既存店ベース同102.7%となった。また同社が取りまとめたスーパーマーケット景気動向調査によると、「引き続き、価格高騰を背景に豚肉・鶏肉への需要シフトが継続している。牛肉は依然として相場高が継続しており、小間切れや切落しなど手頃な価格帯商品の動きがよくなった。豚肉は、しゃぶしゃぶ用、生姜焼き用など日常用途の商品が好調、大容量パックなども伸長した。鶏肉は相場高が続く中でもモモ・ムネなど定番部位は堅調だが、利益面では厳しいとのコメントもみられた。ラム肉は高騰による影響を受け苦戦した。味付肉や簡便食材は好調に推移したが、ハム・ベーコン・ソーセージ類は不振。」と報告されている。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによると令和8年2月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比100.0%の4.0千トンとなった。うち国内品は同93.0%の3.0千トン、輸入品については同132.2%の0.9千トンと輸入品は前年を上回ったものの、国内品は前年を下回る結果となった。
在庫	1. 令和8年2月 (1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)の2月末時点推定期末在庫では国産品37.1千トン(前年比144.1%)、輸入品114.1千トン(同82.0%)、合計で151.2千トン(同91.7%)となった。
	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需給表では、2月の出回りは国産品139.2千トン(前年比101.8%)、輸入品44.3千トン(同93.1%)、合計183.6千トン(同99.5%)となり、前年からは国産品の出回りは増加したものの、輸入品の出回りは減少した。今後3月以降の見通しは、「出回りは、3月は前年同月並みである一方、4月はわずかに上回ると予測する。期末在庫は、3月、4月ともに前年同月をかなりの程度下回ると予測する。なお、過去5カ年の同月平均との比較でも、3月、4月ともにかなりの程度下回る(3月:8.4%減、4月:8.1%減)と予測する。」とされている。
相場	1. 令和8年3月動向 (1) 令和8年3月の月平均相場は、モモ肉830円/kg(前月差±0円)・ムネ肉508円/kg(同▲14円)正肉合計で1,338円/2kgと前月差▲14円、前年同月差+206円となった。(㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、「国産生鮮物は正肉(モモ・ムネ)でパツとしない商いが続いている。ただ、荷動きに反して相場は日経平均でモモ830円台、ムネ500前後と高値でもちあっている。生鮮物の動きが鈍いため、一部では凍結回しで対応しているもよう。一方、肩小肉や副産物関係は堅調で、比較的安価なアイテムに引合いが集中している。輸入品は市中ひっ迫状態が続いており、相場も上昇したまま高止まりしている。中東情勢などで為替動向が不透明にあるなか、しばらくは高値水準を維持するものとみられる。」と報告されている。
	2. 見通し (1) (一社)日本食鳥協会による生産・処理動向調査では、3月の生産状況は入雛羽数・処理羽数・処理重量ともに前年同月比を割る見込みとなっている。北海道での災害、電気事故による熱死発生、各農場重量の低下、廃棄数増、大腸菌症・EC感染症による処分羽数増、ニュージーランドからの雛の入荷遅れ等、複数の要因が考えられると話を聞く。中東での戦争発生が大きく起因し、日本円も一時160円と円安が継続する中、輸入チキンの末端価格は過去にない高値となっている。一時輸入品の販売が拡大した量販店の店頭が国産チキンへ販売がシフトされるとの話も聞かれる。国産鶏肉相場は、依然高値相場を推移している。ムネ肉は、4月以降、輸入品の国内流通もあるが、国産鶏肉相場は、依然高止まりが続いている。一部総菜部門では、国産鶏肉ムネ肉を使っの惣菜弁当の商品開発を進めていると情報もある。今後も国産鶏肉・輸入鶏肉共に流通価格の動向が気になる。このような事を踏まえ今後の相場は、モモ肉は4月は820円/kg、ムネ肉は495円/kg前後で推移すると予測する。 (2) 令和7年シーズンの国内養鶏場・家きん農場における鳥インフルエンザは、4月13日(月)時点で23事例確認されている(採卵鶏16事例、肉用鶏4、うずら1、あひる1、肉用種鶏1の事例)。3月でも3件発生しており予断を許さない状況である。

実績											
生産状況 単位:千羽、千トン、%											
	R7年累計(推計)		R8年2月実績(推計)		R8年3月計画		R8年4月計画		R8年5月計画		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
入雛羽数	805,066	101.4%	60,685	96.9%	63,139	97.4%	65,052	95.5%	63,799	94.3%	
処理羽数	763,029	101.6%	59,077	100.3%	64,379	97.3%	63,053	95.8%	63,876	95.2%	
処理重量	2,299.0	101.1%	181.5	101.3%	194.9	98.1%	190.5	95.2%	189.4	95.7%	
※参考資料:(㈱)全国食鳥新聞社発行「PMN」											
輸入動向 単位:千トン、%											
品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R6年累計	639.2	584.9	109.3	503.2	478.0	105.3	1,142.4	1,062.9	107.5	56.0	44.0
R7年累計	591.5	639.2	92.5	529.8	503.2	105.3	1,121.3	1,142.4	98.2	52.8	47.2
R7年10月	57.3	62.3	92.0	49.0	47.9	102.2	106.3	110.2	96.4	53.9	46.1
R7年11月	43.1	52.0	82.9	47.3	46.2	102.4	90.4	98.2	92.1	47.7	52.3
R7年12月	45.4	49.9	90.8	50.5	45.6	110.8	95.9	95.5	100.4	47.3	52.7
R8年1月	46.8	52.3	89.5	41.7	38.6	108.0	88.5	90.9	97.4	52.9	47.1
R8年2月	46.2	47.7	96.9	40.3	33.8	119.3	86.5	81.5	106.2	53.4	46.6
※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」											
鶏肉の消費動向 単位:グラム、円、%											
履歴	数量			金額			相場(年別・暦年) 単位:円				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		モモ肉	ムネ肉	計	
R6年平均	1,552	1,495	103.8	1,586	1,547	102.5	H30年	595	282	877	
R7年平均	1,555	1,552	100.2	1,682	1,586	106.0	R元年	585	243	828	
R7年10月	1,583	1,584	99.9	1,734	1,595	108.7	R2年	614	269	883	
R7年11月	1,630	1,586	102.8	1,789	1,629	109.8	R3年	641	313	954	
R7年12月	1,833	1,801	101.8	2,112	1,993	106.0	R4年	662	348	1,010	
R8年1月	1,566	1,563	100.2	1,796	1,650	108.8	R5年	730	395	1,125	
R8年2月	1,484	1,499	99.0	1,688	1,601	105.4	R6年	655	369	1,024	
							R7年	774	500	1,274	
※参考資料:総務省統計局HP 家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)											
在庫状況(推定) 単位:千トン、%											
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R7年10月	34.4	32.2	107.0	129.9	141.1	92.0	164.3	173.3	94.8		
R7年11月	35.2	30.8	114.4	121.6	139.3	87.3	156.8	170.1	92.2		
R7年12月	36.4	29.6	123.0	111.7	134.9	82.7	148.0	164.5	90.0		
R8年1月	36.8	26.3	140.2	112.2	139.2	80.6	149.0	165.4	90.1		
R8年2月	37.1	25.7	144.1	114.1	139.2	82.0	151.2	164.9	91.7		
※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」											
出回り量(推定) 単位:千トン、%											
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R6年累計	1,721.2	1,689.0	101.9	619.9	606.3	102.2	2,341.1	2,295.4	102.0		
R7年累計	1,725.4	1,721.2	100.2	614.8	619.9	99.2	2,340.2	2,341.1	100.0		
R7年10月	150.6	148.6	101.4	57.7	57.7	100.0	208.4	206.4	101.0		
R7年11月	142.2	145.7	97.6	51.3	53.8	95.5	193.5	199.4	97.0		
R7年12月	154.6	155.6	99.3	55.3	54.3	101.9	209.9	209.9	100.0		
R8年1月	144.3	142.0	101.6	46.3	48.1	96.2	190.6	190.1	100.3		
R8年2月	139.2	136.8	101.8	44.3	47.6	93.1	183.6	184.4	99.5		
※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」											
相場(月別) 単位:円、%											
品名	モモ肉			ムネ肉			正肉合計				
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R5年度平均	700	702	99.7	384	371	103.5	1,084	1,073	101.0		
R6年平均	655	730	89.7	369	395	93.4	1,024	1,125	91.0		
R7年平均	774	655	118.2	500	369	135.5	1,274	1,024	124.4		
R7年12月	777	730	106.4	539	404	133.4	1,316	1,134	116.0		
R8年1月	829	745	111.3	538	403	133.5	1,367	1,148	119.1		
R8年2月	830	744	111.6	522	394	132.5	1,352	1,138	118.8		
R8年3月	830	740	112.2	508	392	129.6	1,338	1,132	118.2		
R8年4月	(820)	799	102.6	(495)	444	111.5	(1,315)	1,243	105.8		
R8年5月	(820)	842	97.4	(495)	497	99.6	(1,315)	1,339	98.2		
※()は見通し											